



このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。

引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。

締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

レバー自動施錠 表示錠 取付説明書

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

姿 図												
名 称	ボタン側本体	室内座	本体スペーサー	レバーハンドル	錠 set	受座 set	本体固定ねじ 長さ35mm	錠・受座取付ねじ 長さ 25mm	六角穴付きねじ 長さ30mm	六角レンチ	取扱説明書set	キー
数 量	1	1	1	2	1	1	3	4	2	1	1	2

各部の名前と働き

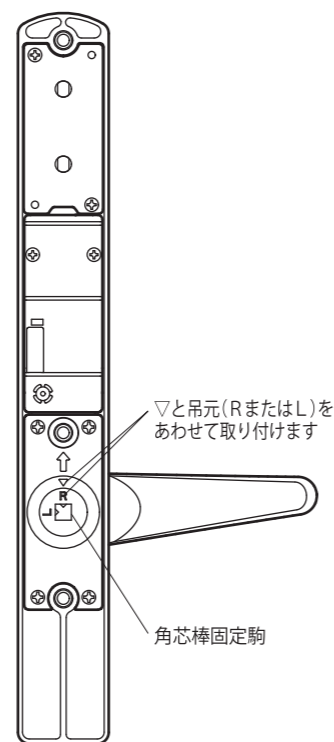
ボタン側本体



室内座

番号変更シリンダー
記憶番号変更時に使用

室内座裏側

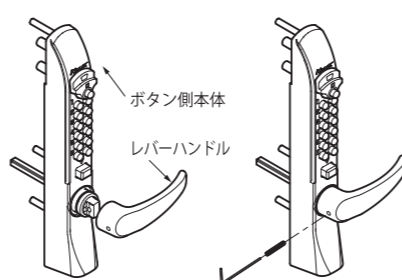


取付前の準備： 扉の吊元にあわせて、各部材をセットします。吊元は、室外側から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください(クサビ等で扉を固定するとよい)

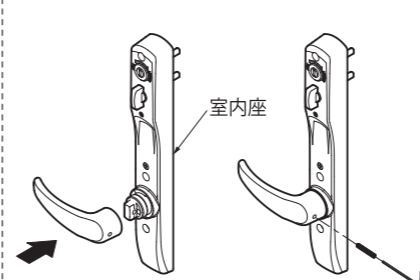
右吊元 (外開き・内開き)



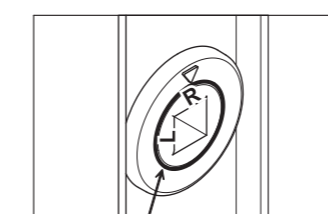
I：ボタン側本体とレバーハンドルをセットし、六角穴付きねじで固定する。



II：室内座とレバーハンドルをセットし、六角穴付きねじで固定する。

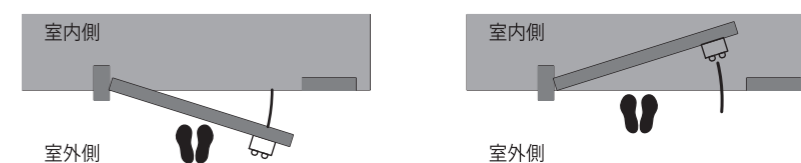


III：室内座裏側の▽とRをあわせる。

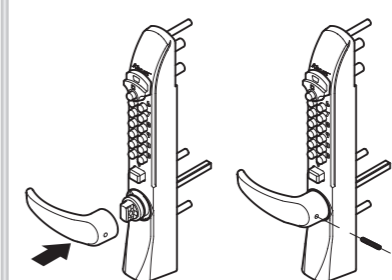


角芯棒固定駒を回し、▽とRをあわせる

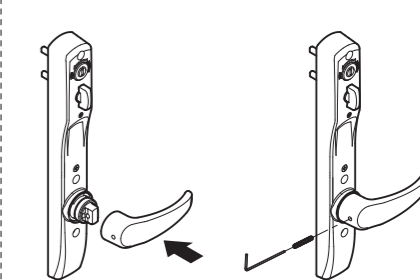
左吊元 (外開き・内開き)



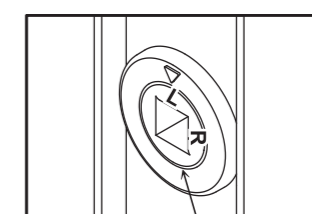
I：ボタン側本体とレバーハンドルをセットし、六角穴付きねじで固定する。



II：室内座とレバーハンドルをセットし、六角穴付きねじで固定する。



III：室内座裏側の▽とLをあわせる。



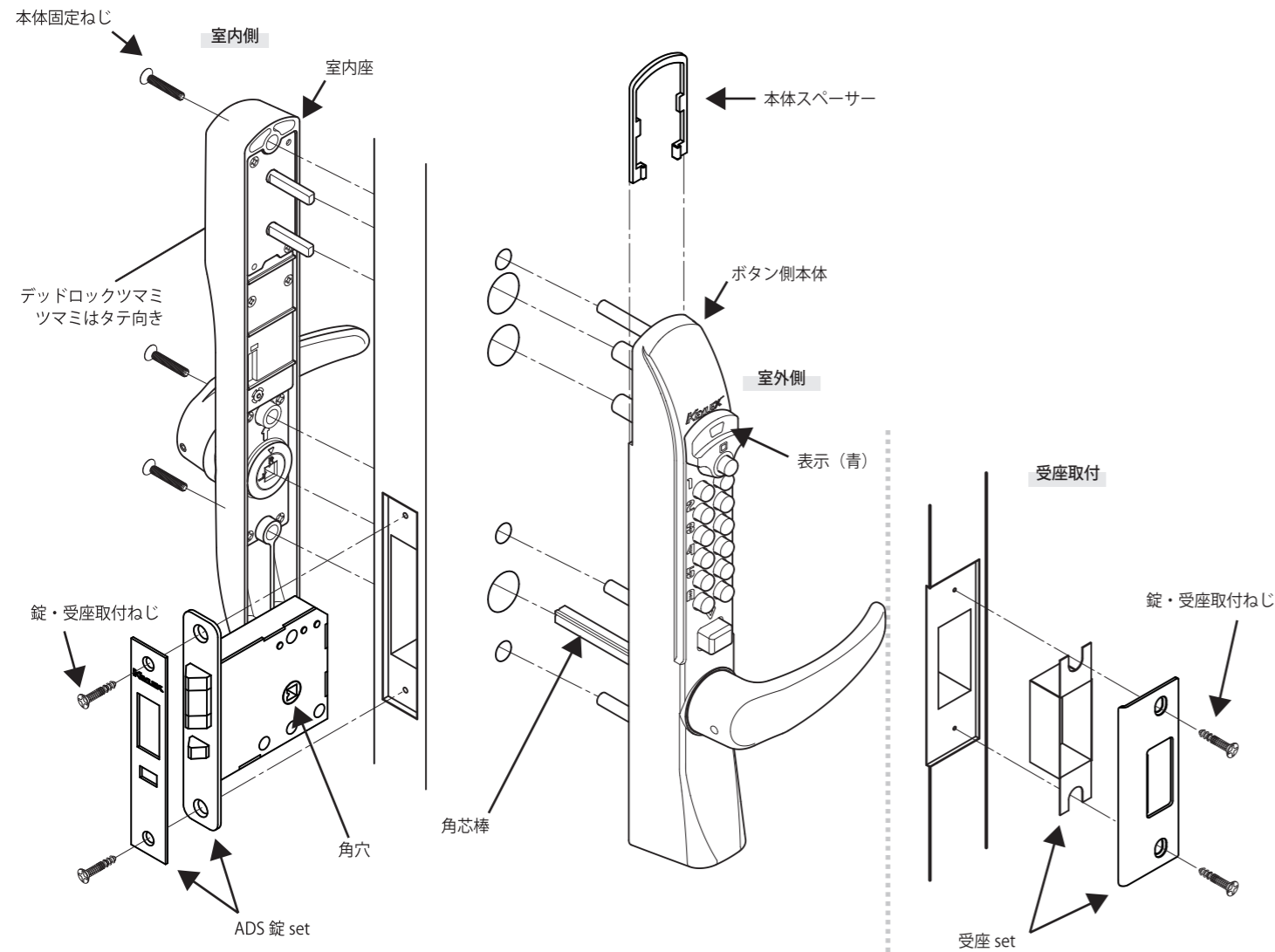
角芯棒固定駒を回し、▽とLをあわせる

扉への取付穴加工

キーレックス本体の取付穴加工をします(キーレックス本体の切欠図は別紙参照)

キーレックス3100の取り付け

- ①ADS錠setを、錠・受座取付ねじ2本で取り付けます。
- ②受座setを、錠・受座取付ねじ2本で取り付けます。
- ③右ページの取り付け図を参照し、本体スペーサーを取り付けます。
- ④ボタン側本体の角芯棒を、ADS錠角穴に差し込みます。
- ⑤室内座を、本体固定ねじ3本で固定します。

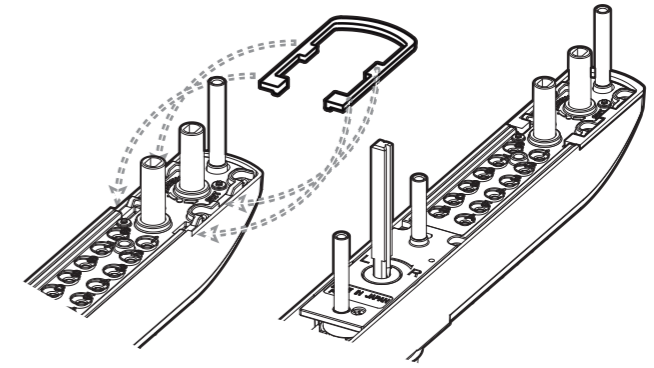


本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

作動確認： レバーハンドルが作動しない場合は、吊元設定及び取付時設定状態をもう一度確認してください。

本体スペーサーの取り付け

本体スペーサーを室外側本体の裏側のくぼみに合わせてはめ込んでください。



解錠方法

室外側

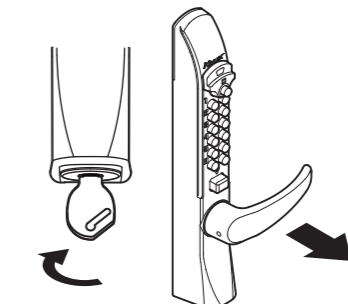
ボタンの操作

- ①リセットボタンを押す
 - ②現在の記憶番号を押す
 - ③エンターボタンを押す
 - ④レバーハンドル操作で解錠できます
※エンターボタンを押しながらハンドル操作をしないでください
- ※本図は右吊元仕様(左吊元時は対称)

鍵の操作

記憶ボタン操作を行わず、キー操作でも解錠できます

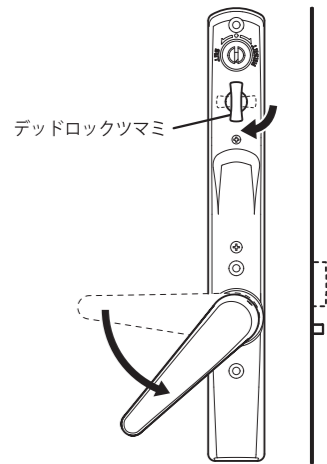
底部シリンダーにキーを入れて回し、そのままレバーを引いて開扉します。



※本図は右吊元仕様(左吊元時は逆回転)

室内側

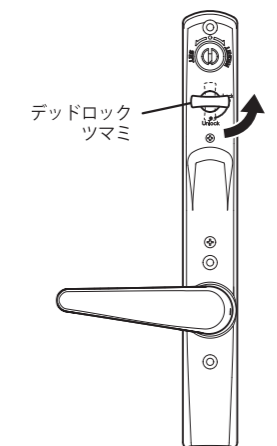
レバーハンドル操作で解錠します(デッドロックツマミはレバーと連動して自動で解錠します。)



室外側

扉を閉めると、自動で施錠されます
※施錠時にレバーハンドルを操作すると空転します

室内側



デッドロックツマミをLockにまわす
※室外側からのボタン操作は無効になります

NAGASAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) FAX. 03-5967-3103
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代) FAX. 06-6783-5092